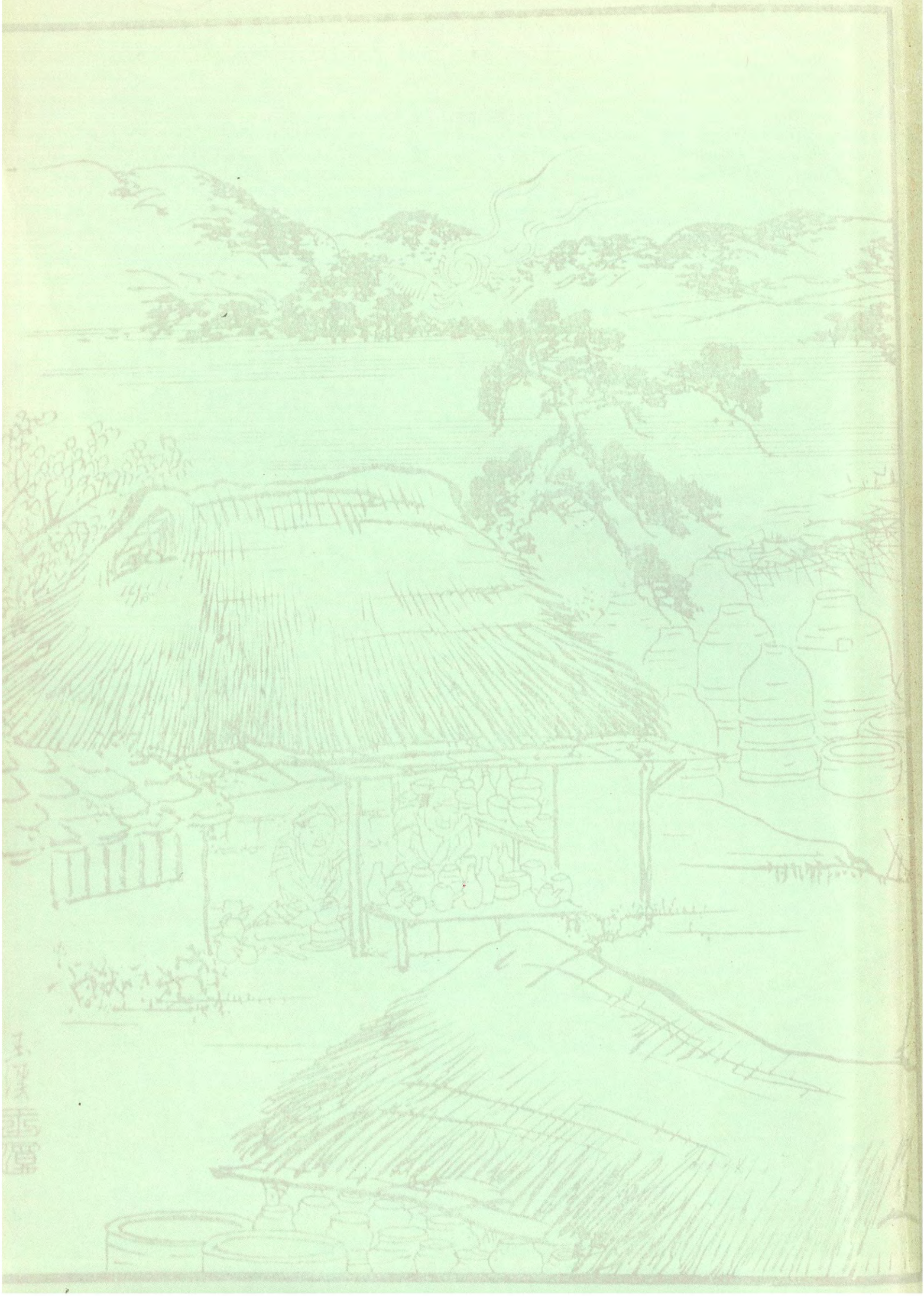
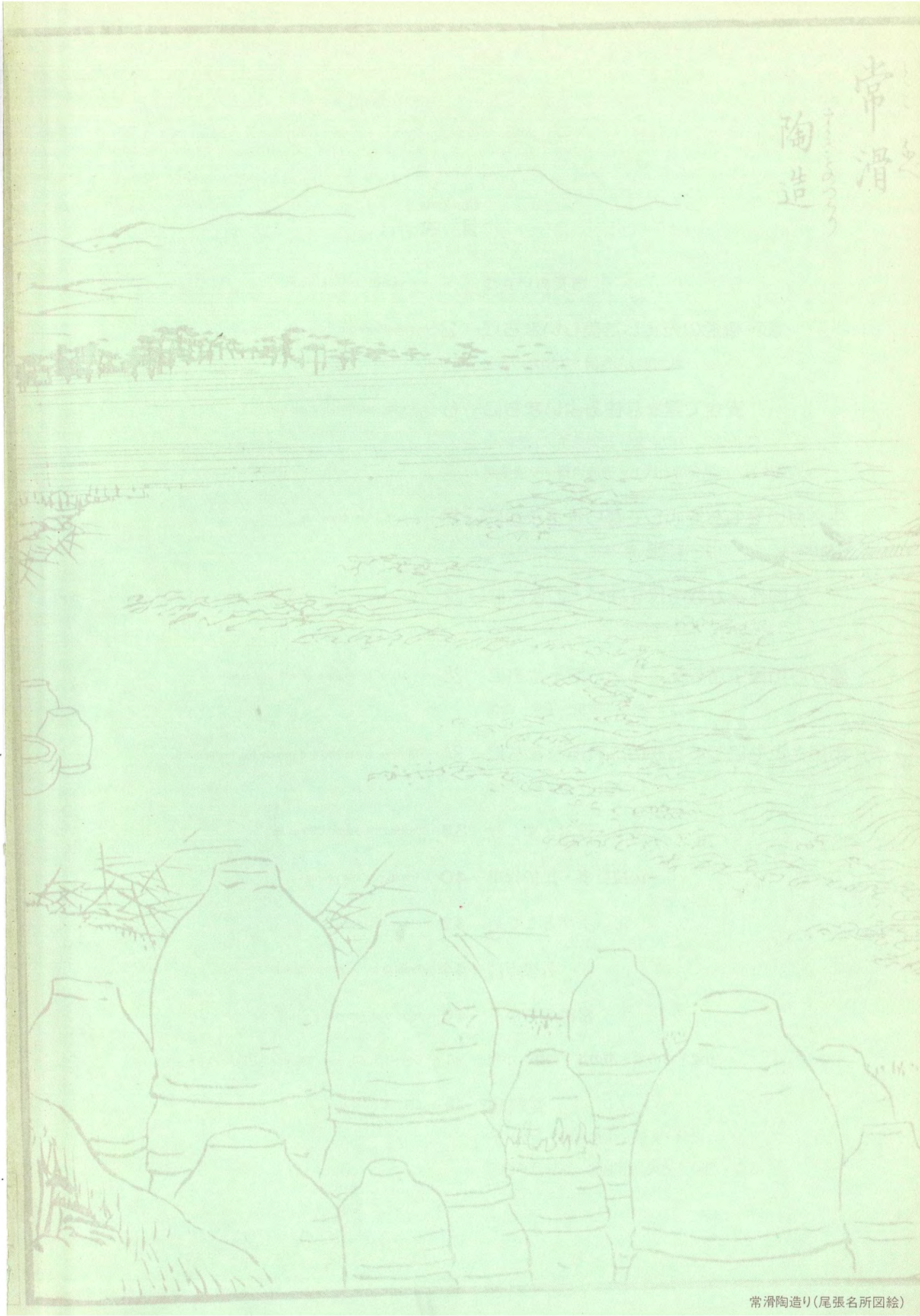
常滑





常滑陶造り（尾張名所図絵）

Contents

目　次

市長あいさつ……1……Greetings from the mayor

都市機能の充実した美しいまちに……2……A well-serviced, beautiful community

都市施設の整備・市街地の開発

安全で健康な住みよいまちに……6……A safe, healthy environment

交通安全・消防防災・環境衛生・公害防止

消費生活・自然保護と緑化・健康管理・交通機関

生きがいをもち安心して暮らせるまちに……16……A productive happy life

児童福祉・老人福祉・障害児(者)福祉・地域社会福祉

人間性豊かな市民をはぐくむまちに……22……A city of friendship and goodwill where everyone respects each other

学校教育・社会教育・文化財・体育スポーツ

豊かな市民生活を支える活力あるまちに……28……A city of continuous growth and prosperity

漁業・農業・工業・商業

市民とともにつくる心のふれあうまちに……34……To have our public and private life harmonized

コミュニティ・和の行政

見る・遊ぶ・楽しむ……38……"Sights" "Leisure" "Pleasure"

伝統行事・民俗行事……40……Traditional folk events

あいラブとこなめ……42……I love Tokoname

名誉市民……44……Profiles of Honorary citizens

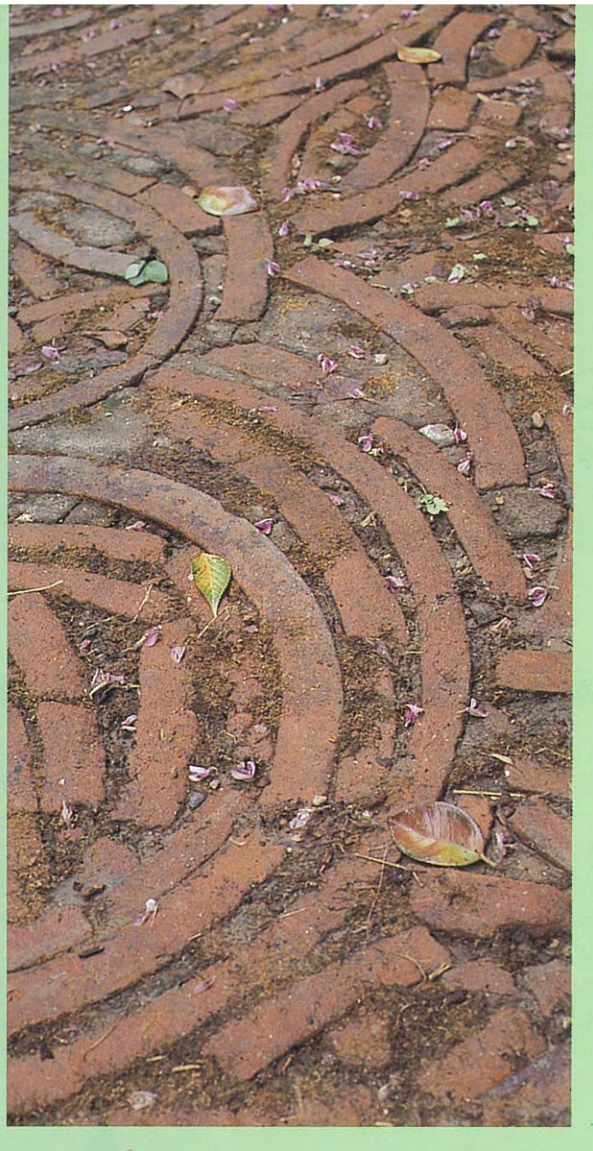
常滑のあゆみ……46……History of Tokoname

市章・市の木・市の花・音頭・小唄……48……City mark, City tree, City flower, Ondo, Kouta

資料編……49……Data of Tokoname

自然・人口・土地利用・産業経済

教育・福祉・防災・行財政・主な公共施設



常滑

TOKONAME

AICHI



常滑市

常滑市は、愛知県知多半島の西海岸中央部に位置し、西は伊勢湾に面して平たん地が続き、東は半島の背骨ともいえる丘陵地帯になっています。人口は５万3,000人、市域面積は49.60㎢。海岸沿いに市街地があり、伊勢湾は漁業に、平たん地は商工業に、そして丘陵地は農畜産業にと恵まれた地理的条件にあります。また、古くから焼き物の産地として知られています。その歴史は、平安末期から900年にも及び、瀬戸、信楽、越前、丹波、備前と並んで日本六古窯のひとつに数えられ、中でも常滑は、最も古く最大規模といわれています。



北緯　34°53′
東緯　136°50′
面積　49.60㎢
東西　6.1km
南北　15.0km

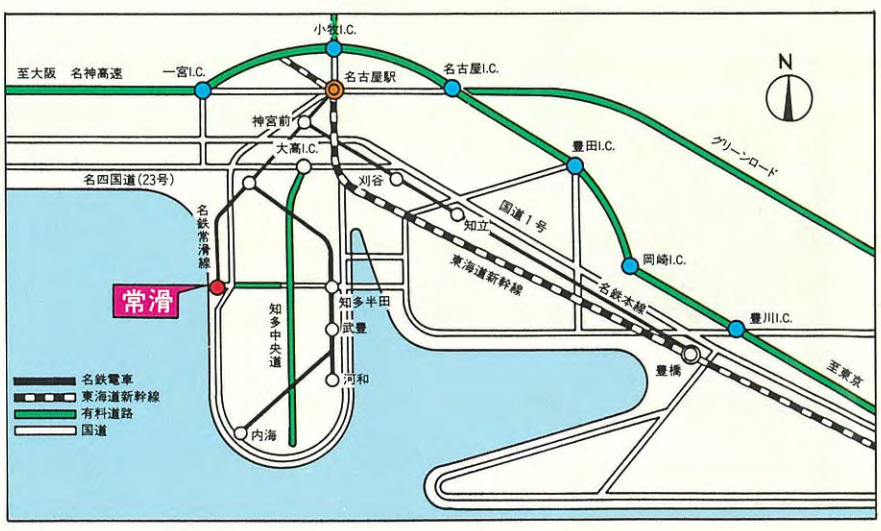
TOKONAME CITY

Tokoname is located in the heart of Japan, 30 kilometers south of Nagoya. Its beautiful location on the west coast of Chita Peninsula, overlooking Ise bay, blesses it with a gentle climate.

Tokoname has a population of 53,000 and an area of 49.60 square kilometers.

The western side of the city is a coastal plain utilized for commerce and industry. On the east side a chain of hills, the so-called backbone of the Peninsula, are good for agriculture and cattle-raising. The urban area lies mainly along the coast. The Ise bay is the main source of our fishing industry.

In Japan there are six ancient areas of pottery sites, Tokoname, Seto, Shigaraki, Echizen, Tamba and Bizen. Of these Tokoname has proved to be the oldest and the largest. To this day Tokoname has been one of the centers of the ceramic industry for more than 900 years.





市長あいさつ



新常滑時代に向けて

Greetings from the Mayor

新しい常滑の時代の幕開けです。

長い歴史と伝統、豊かな風土、細やかな人情。知多半島の中央部に位置し、営々と、黙々と生きてきた常滑に、新しい風が吹いてきました。

「新伊勢湾時代」の展開。無限の夢と可能性を秘めた伊勢湾に、今、熱い大きな期待が寄せられています。

その伊勢湾につつまれ、遠く平安、鎌倉から伝わる「古常滑」に象徴されるダイナミックな焼き物のように、常滑市はまさに水を得た竜のごとく、大きく飛翔しようとしています。

多様化する行政需要、地方自治をめぐる厳しい環境。その中にあって、「活性化をめざす新常滑時代」をスローガンに、日々努力している常滑市と常滑市民の意気と熱気をこの小冊子からお汲み取りいただき、暖かいご支援と厳しいご叱正を賜れば幸甚です。

常滑市長 中村克巳

Towards the New Tokoname Era.

The New Tokoname era is going to start. This community, situated in the middle of Chita Peninsula, has a long history, full of tradition, stimulated by its mild climate and creative inhabitants.

It has been laying low, but now a new wind has started to blow here.

The Development of "The New Ise Bay Era."

Now bright and new hopes are placed on Ise Bay, an area with endless possibilities and dreams.

Tokoname like its ancient pottery ("Ko Tokoname") retains its dynamic power through the ages, from Heian and Kamakura (From the 12th century) to the present. Now with its view of Ise Bay, it is going to fly high like the dragon who has just been refreshed by water.

The local government of Tokoname has been under severe circumstances caused by its diverse demands. The slogan "The New Tokoname Era" is aiming these demands with the help of its people to stimulate its growth for the future. I hope the people's spirit and enthusiasm are taken into considerration for this booklet, and their warm response as well as their criticizm will be given to us.

Katsumi Nakamura

The Mayor of Tokoname City
KATSUMI NAKAMURA



都市機能の充実し

A well-serviced



北条向山線を西に望む

た美しいまちに

beautiful community



駅前広場

都市施設の整備

地域経済を支えるまちづくり

市民生活や産業活動の基本は都市整備にあります。道路や河川、上・下水道、公園などの公共施設の整備を進めることは、都市機能を高めることにつながります。

駅前整備事業も完了し、装いも新たに常滑駅ビルが完成。地域経済を支える美しいまちづくりに向けて、都市的環境の整備が進められています。



道路整備



雨天通路の設置



榎戸土地区画整理

市街地の開発

ゆとりある美しい生活環境

すべての市民が文化的で快適な生活ができるよう、地域の特徴を生かした都市基盤の整備が行われています。

ゆとりある生活環境をめざして、土地区画整理事業で住宅用地をつくり出し、優良住宅地の供給を進めています。また、過密な商業地域を中心に、市街地の開発に努めています。



井戸田土地区画整理



榎戸土地区画整理



安全で健康な

A safe, healthy



交通安全を呼びかける街頭指導（市民人波千人作戦）

住みよいまちに

environment



保育園の親子交通訓練



ママさんグループの交通訓練

交通安全

市民総ぐるみで取り組む

市民１人ひとりが健康で安全に暮らせることがゆとりある豊かな生活につながります。

交通安全推進協議会を中心に、「交通安全は毎日、市民総ぐるみで」をモットーに、街頭交通指導を行うなど市をあげて交通安全活動に取り組んでいます。

交通安全は家庭から、まず親がお手本を。幼児から老人まで徹底した交通安全指導が続けられています。



小学生登校風景



力を合わせてバケツリレー（総合防災訓練）

消防防災

災害はいつも不意打ち

火災、台風、地震などの災害から市民の生命と財産を守るため、安全対策には特に力を入れています。

消防団をはじめ地区防災班、少年消防クラブや婦人防火クラブなどの市民組織と協力して、毎年大がかりな防災訓練を実施しています。また、地区や職場、学校、幼稚園、保育園などを対象に防火訓練を行って防火に対する意識を高めています。



消防団操法大会



総合防災訓練



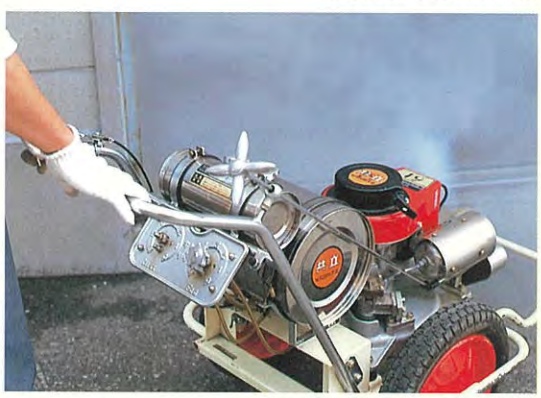
530運動空き缶回収

環境衛生

清潔で住みよい環境づくり

生活水準の向上と生活様式の変化でごみの量は年々増加しています。

市では、ごみやし尿を早く衛生的に処理するため、委託業者による収集を行い、それぞれ常滑武豊衛生組合と中部知多衛生組合の施設で処理しています。また、屋内消毒を行って、そ族害虫等の駆除に努めています。一方、清潔な環境を保つため、常滑530運動推進連絡会が中心になって、市内の美化を進めています。



エンジンダスターで屋内消毒



ごみ清掃車



河川の水質調査



水質分析

公害防止

公害のない快適環境をめざして

社会経済の発展と生活環境の変化に伴い、公害苦情は複雑で多様になってきました。

以前は、窯の煙突から出されるばい煙の大気汚染が心配されたことがありました。しかし、現在は騒音や振動、悪臭などの生活型公害が増え、その対策を中心に監視や測定、指導を行っています。また、企業に対する公害防除施設の整備対策を進め、公害防止協定を結ぶなどして公害防止に努めています。



騒音測定



生活グループの廃油回収



せっけんづくり

消費生活

賢い消費者を育てる

消費生活の安定を図るために、生活講座や苦情相談を開いて賢い消費者の育成に努めています。

生活グループに助成協力して学習会や生活展などを開いたり、物価モニターを委嘱して生活必需品の小売価格調査を行ったりして消費者知識の向上を図っています。



ガレージセール



巣箱かけをするカブスカウト（桧原公園で）

自然保護と緑化

緑とふれあう憩いの場

緑は、私たちの生活に潤いと安らぎを与え、快適な生活環境をつくる大切な役割を果たしています。

最近は都市化が進み、丘陵地の開発などで緑が失われつつあります。潤いのある緑豊かな環境は、市民の緑化に対する積極的な参加と協力が必要です。市では、苗木の無料配布をはじめ自然を生かした桧原公園の整備を進めています。



みどりの少年団の自然観察



緑化木の無料配布



保健センターの3カ月児健診

健康管理

健診は健康づくりの第１歩

安心して暮らすには、健康が第一。市民が健やかな毎日を過ごすためには、健康管理が大切です。

保健センターでは、乳幼児の健診や予防接種をはじめ母親教室や育児教室などの衛生教育を行っています。また、疾病の早期発見と早期治療を目的に、住民健康診断や相談を行い、市民の健康管理に努めています。一方、市民病院では、地域の医療施設の中核として最新鋭の機器を備え、医療サービスの充実を図っています。



保健センターの３歳児歯科健診



市民病院の人工腎センター

交通機関

私たちの便利な足がわり

市の玄関口にふさわしく、駅前広場にはコンコースやバスターミナル、タクシー乗り場などが整備されています。

名鉄常滑線で新名古屋駅までは、急行で約50分。朝夕の通勤、通学や競艇開催日には、多くの人が利用しています。またバス路線は、駅から半田市、美浜町方面を結ぶ3路線があります。

北部地域にはバス路線がないため、市が無料バスを運行して公共施設への利便を図っています。



常滑駅



駅前広場



北部には市無料バスが



生きがいをもち安心

A productive



老人クラブ連合会の将棋大会

して暮らせるまちに

happy life



小鈴谷北保育園の園庭で

児童福祉

健やかな成長を願って

21世紀を担う子供たち。心身ともに健やかに育つことは、みんなの願いです。また、子供たちの笑顔は、まちの宝でもあります。

保育園では、幼児保育をはじめ３歳未満児保育や障害児保育を行い、一部で長時間保育に取り組むなど、より充実した保育を進めています。児童館では、子ども会や母親クラブなど地域活動が盛んに行われ、家庭と地域社会が一つになって健全な環境づくりに努めています。



桧原公園で虫捕り



児童館対抗子供駅伝大会



老人クラブ連合会の芸能発表会



ゲートボール

老人福祉

まだまだ元気　のびのび人生

市の65歳以上の人口は、全体人口の約12パーセントで、今後さらに高齢化が進むことが予想されます。

健康で生きがいを持ち、楽しい生活が送れるように、老人クラブの活動を育成し、寝たきり老人やひとり暮らし老人などの要援護老人対策を進めています。また、シルバー人材センターでは、健康老人の働く場として、積極的な生きがい活動が行われています。



働くシルバー人材センターの会員



いも掘りを楽しむ授産所の通所生

障害児(者)福祉

ぬくもりあふれる思いやり

心身に障害をもつ人たちが積極的に社会に参加し、生きがいをもって暮らせるように、障害者とともに歩む開かれた福祉社会づくりを進めています。

ぬくもりあふれる思いやりを大切に、地域ぐるみの助け合いが必要です。自立をめざす障害児(者)のために、２カ所の小規模授産所を設けて職業訓練や生活指導を行っています。



千代ヶ丘学園の夏まつり



梶間授産所



市福祉大会



市福祉大会

地域社会福祉

ともに手をとり助け合い

きめ細かな福祉を進めるには、行政施策の充実とあわせて、地域社会の役割が重要です。

社会福祉協議会は、相互扶助の精神に基づいて、ボランティア活動に力を入れています。また、心配ごと相談を開いたり、歳末助け合い運動を行うなど、市民ぐるみの活動を進めています。ボランティア活動は、市民の参加意欲とともに高まり、多くの福祉団体が協賛して福祉大会が毎年盛大に行われています。



市福祉大会



人間性豊かな市民

A city of friendship and goodwill



小中学校音楽祭

をはぐくむまちに

where everyone respects each other



小学校授業風景

学校教育

子供の夢が大きく膨らむ

子供たちの未来は輝いています。21世紀に向かって大きな夢が膨らみます。

人間性豊かなたくましい児童、生徒を育てるため、地域の特色を生かした学校教育が進められています。成長段階にあわせた教育内容の充実を図り、学びよい環境づくりとゆとりある学校施設の整備に努めています。



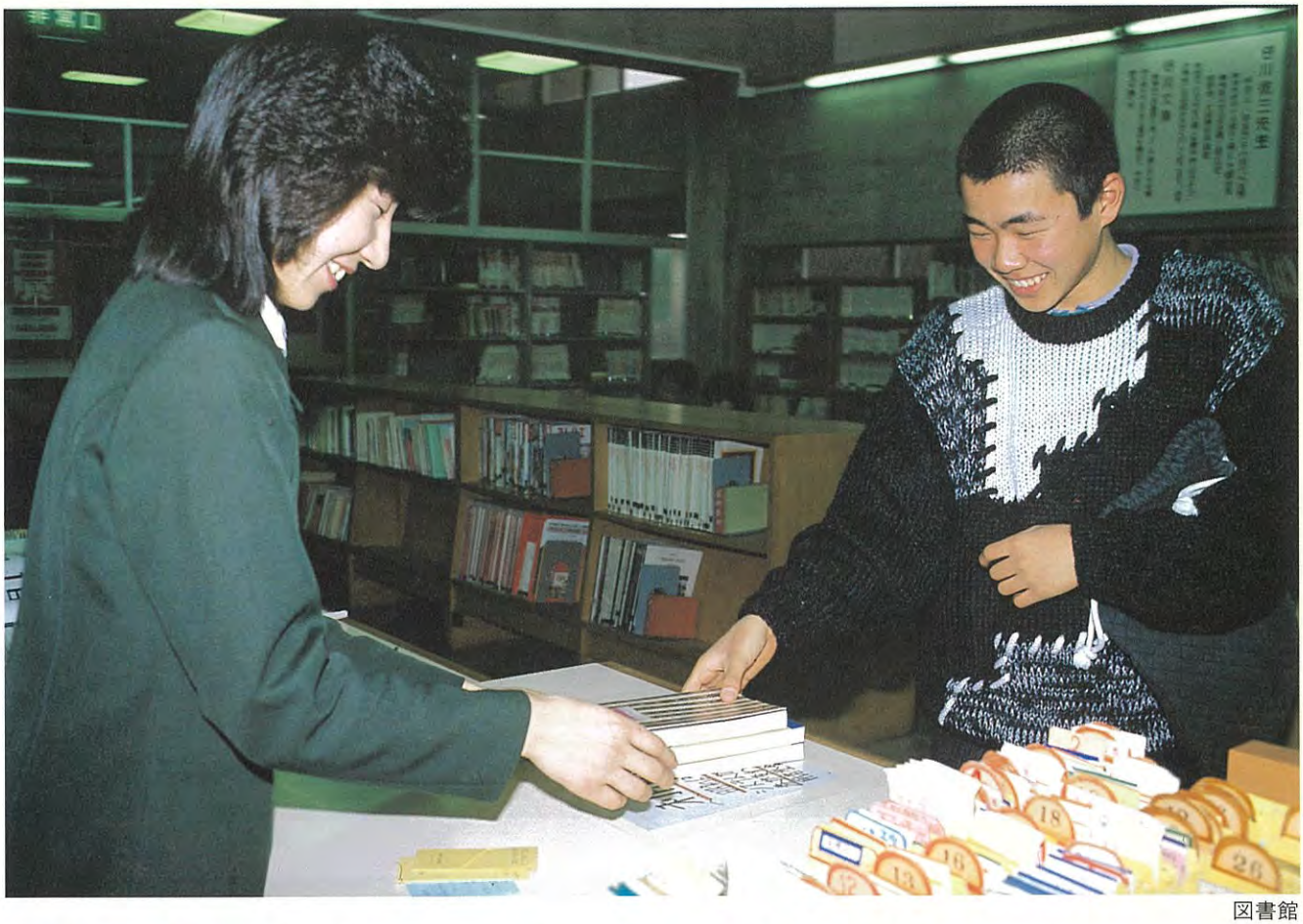
中学校にパソコン



土に親しむ陶芸広場（常滑東小学校）



砂の造形（大野小学校）



図書館



市美術展

社会教育

ふれあいの生涯学習

生涯を通して学び、創り、育てる環境こそ、豊かな地域づくりの第１歩。子供から老人まで、すべての市民が学ぶ喜びにふれる環境整備を進めています。

市内には、中学校区ごとに建設された４つの公民館があります。公民館では、学習活動や各種の講座、教室を開いたり、自主グループの育成に努めています。また、図書館の蔵書冊数は16万6,000冊。市民１人当たり貸出冊数は6.1冊。だれもが、いつでもどこでも学ぶことができる社会教育をめざして生涯教育を進めています。



公民館の太極拳教室



公民館で活動する自主グループ



重要有形民俗文化財「登り窯」

文化財

よみがえる貴重な文化遺産

市の指定文化財は、国の重要文化財２点をはじめ県、市指定の有形、無形文化財合わせて137点。民俗資料館には指定の窯業民俗資料が数多く陳列保存されています。

常滑焼の伝統を伝える技は今も生きています。長い歳月をかけて培われた技術は、目をみはるばかりの名人技ともいえます。

知多半島には数千基の古窯があるといわれ、常滑の特色ある埋蔵文化財の古窯発掘調査が毎年行われています。



古窯発掘



沢田重治さん（ヨリコ造り）



杉江時治さん（ヨリコ造り）



土井福雄さん（ロクロ技術）



小中学校陸上競技大会

体育・スポーツ

心も体もリフレッシュ

心と体を鍛える運動からレクリエーションスポーツまで、近ごろはスポーツが盛んに行われています。

市民体育館をはじめ大曽公園などの公共社会体育施設や夜間開放の学校体育施設では、心地よい汗を流す利用者でにぎわいます。

市では、体育施設の整備を進め各種スポーツ教室や大会などを開いたり、体育協会を中心に自主的なスポーツ活動の育成を図ったりしてスポーツ人口の拡大に努めています。



剣道スポーツ少年団



中学校春季体育大会



少年水泳教室



豊かな市民生活を支

A city of continuous



茶器製造

える活力あるまちに

growth and prosperity

漁業

捕る漁業から育てる漁業へ

４つの漁業協同組合を中心に、ノリ養殖を主体にした漁業が営まれています。常滑のノリの生産量は県下第２位で、香りやつやなど品質も高い評価を受けています。

漁業経営の安定と漁場環境の保全に努め、クルマエビやガザミなどの稚魚の放流を行って、捕る漁業から育てる漁業へと栽培漁業が進められています。



ノリそだ打ち



ノリ採取



伊勢湾に並ぶノリそだ



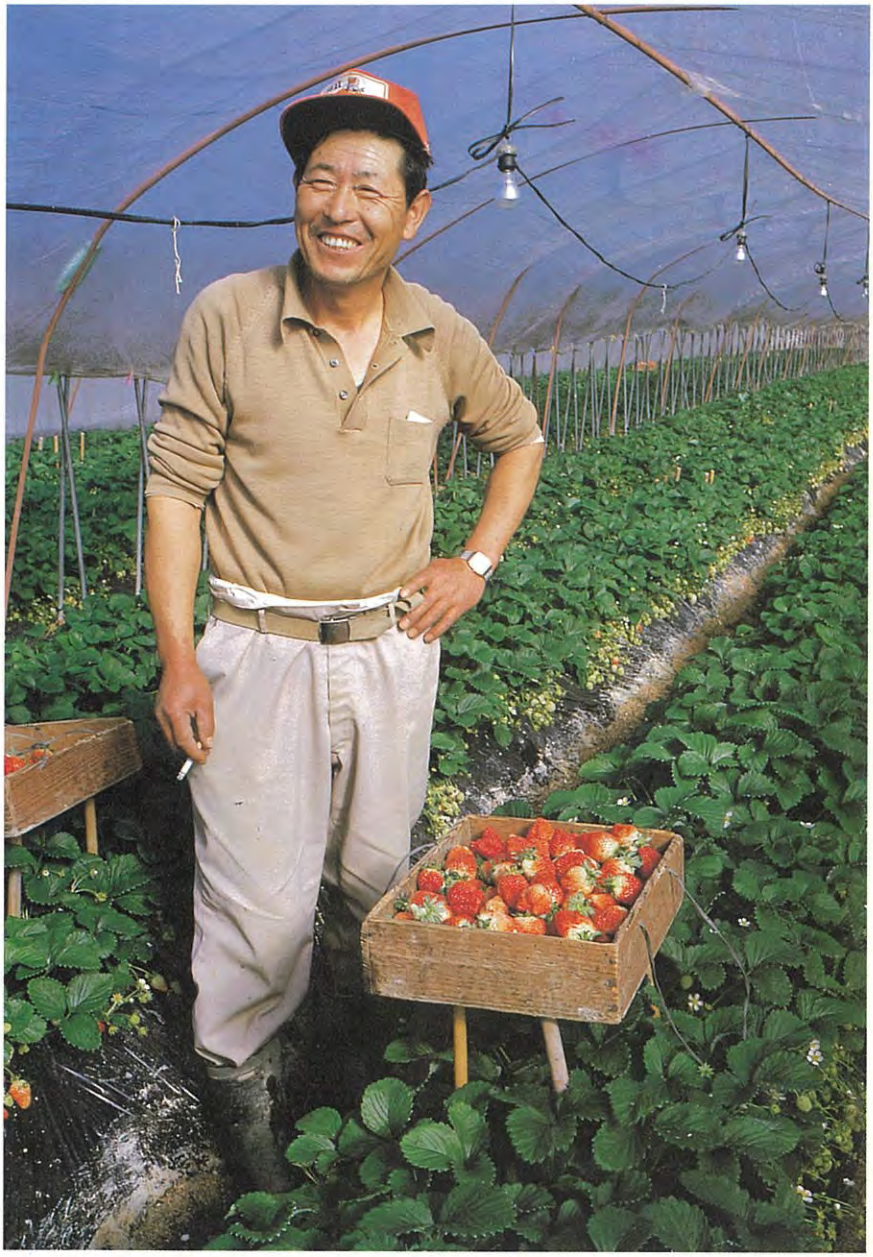
帰港する漁船

農業

人と土地を生かす
土地利用型農業

市街化調整区域全域を対象に、大規模な土地改良事業が進められ、農村総合整備事業で生みだされた農地の有効利用を図っています。

老年から青年、婦人まで幅広く農業の担い手を育成し、露地そ菜と果樹の産地化をめざした畑作振興事業を進めています。



常滑産のハウスイチゴ



農業振興まつり



キウイフルーツは市の推奨作物



総パ事業



陶管製造

工業

高まる成長産業への期待

市の工業は窯業、機械金属、繊維を主産業に、約900の事業所があります。中心産業の窯業は、遠く平安末期からの歴史を持ち、瀬戸・信楽・越前・丹波・備前と並び日本六古窯の１つに数えられています。

地場産業の活性化に力を入れ、経営の近代化や新商品の開発が行われています。また、優良企業の誘致と先端技術の導入を図って工場団地が建設整備され、成長産業へ向けての期待が高まっています。



茶器製造



タイル製造



新春常滑焼総合大見本市



ショッピング風景



市物産情報センター

商業

魅力ある商店街づくりへ

多様化する消費者ニーズと普及する車社会に対応した経営と商店街づくりが望まれています。

常滑の商業の特色はやはり陶磁器の卸売り。茶器をはじめ鉢や建築陶器が全国に販売されています。

駅ビルの完成とともにオープンした市物産情報センターでは、市内で製造された陶磁器をはじめ、物産展示コーナーを設置して観光客や市民に広く紹介しています。



常滑焼まつり(毎年8月)



市民とともにつくる

To have our public and



市民運動会で応援する人たち

心のふれあうまちに

private life harmonized



総合防災訓練に参加する地区の人たち

コミュニティ

このまちが好き　ふるさとづくり

みんなの幸せは、一人ひとりの温かい心から生まれます。自分たちのまちは自分たちの手で、住みよくしていこうとする、地域のつながりが重要になっています。

地域社会での人と人とのふれあいを大切に、ともに力を合わせて地域づくりを進めようとしています。



道路清掃



河川清掃



市議会を傍聴する人たち



市議会本会議

和の行政

市民とともに築くまち　常滑

めまぐるしく変化する社会情勢の中で、市民のニーズも量から質へと価値観が変わってきています。

行政と市民、企業や団体がお互いに理解しあって円滑な行政が図られます。みんなの声を真剣に聞き、「和の心・和の行政」をキャッチフレーズに、対話と協調の気持ちを大切にして、住みよい暮らしよい市政を進めています。



小学生の議場見学

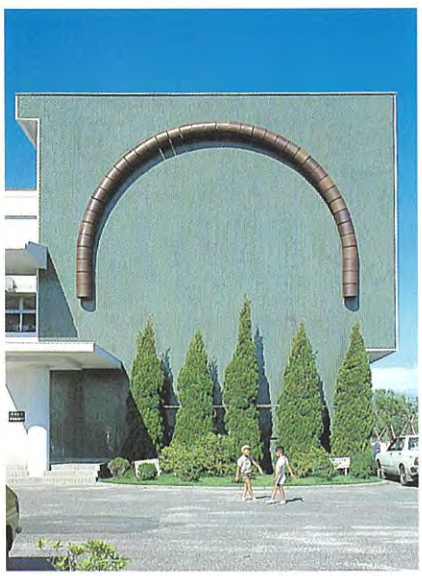
見遊楽しむ



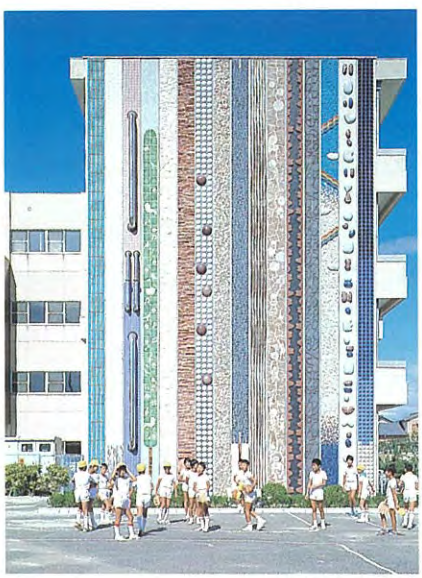
常滑西小学校



陶芸研究所



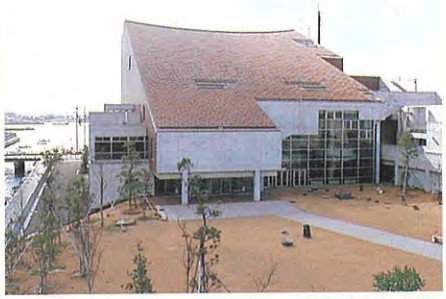
常滑東小学校



鬼崎南小学校



民俗資料館



市民文化会館



市物産情報センター



駅ビルコンコース

窯から生まれる焼き物の中には、陶壁として建物を飾るものがあります。まちを装うその造形からは、常滑のイメージが大きく広がります。

地理的に恵まれた海岸は、四季を通して楽しむことができます。好天の海は、潮干狩りや海水浴でにぎわいます。



潮干狩り



海水浴(大野海岸)



ウインドサーフィン

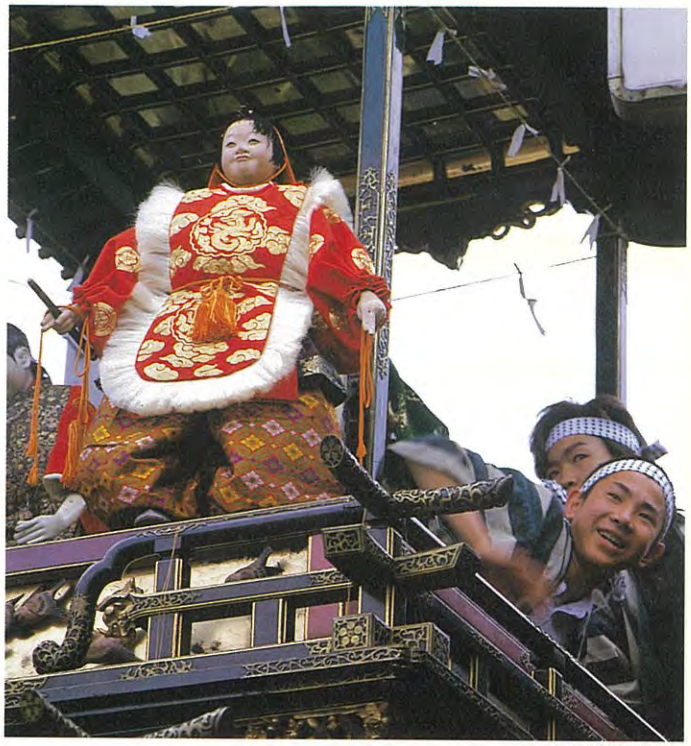


常滑ボート

伝統行事・民俗行事



大野地区祭礼（紅葉車）


大野地区祭礼


矢田のオンカ送り


矢田の虫送り


久米地区祭礼


矢田万歳

４月から５月にかけて、各地区で春祭りが催されます。市内の山車は13台。あやつり人形やみごとな彫刻を施した山車が引き回され、まちは祭り一色に彩られます。大谷の蓬来車や坂井の山車、大野のあやつり人形芸能は市文化財に指定されています。民俗行事も数多く行われ、知多の虫供養（矢田地区ほか７字）や尾張の虫送り（矢田地区）は県の指定文化財になっています。


常滑地区祭礼


常滑地区祭礼


大谷地区祭礼（蓬来車）


常滑地区祭礼


虫供養（西之口）


多屋の神子舞


坂井地区祭礼


小鈴谷地区祭礼

あいうらブとこなめ


常滑風景


常滑風景


大急須・大湯のみで茶会（常滑茶器青年会）


民俗資料館


民俗資料館


田植え


一六市場

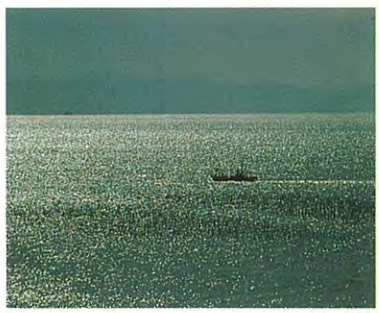

焼き物散歩道

I Love Tokoname…



ホームステイと書の交歓会（常滑東小学校）


伊勢湾の夕日


伊勢湾

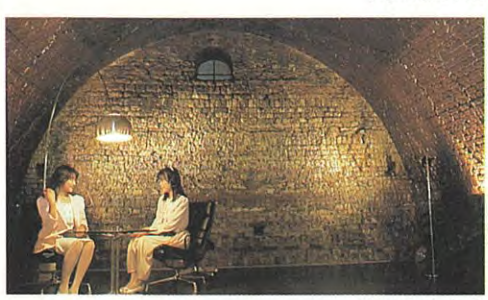

れんげ畑

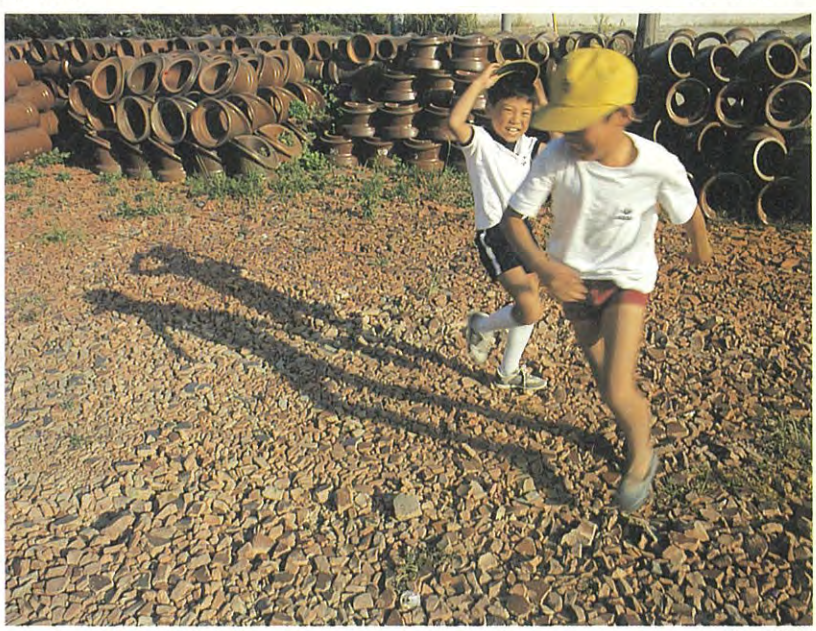

焼き物散歩道


焼き物散歩道

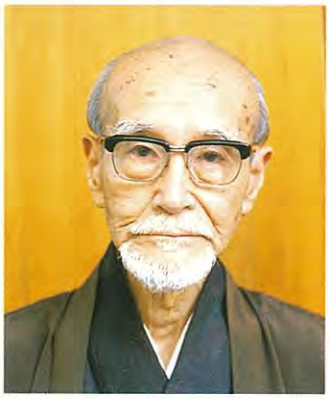


陶磁器会館


窯のある広場


陶管置場

名誉市民



Mr. Tetsuzo Tanikawa

谷川（たにかわ）　徹三（てつぞう）氏

昭和62年8月13日名誉市民

明治28年5月26日生
東京都杉並区在住
(旧常滑町出身)

現職

哲学者、文学博士、法政大学名誉教授、日本芸術院会員、ペンクラブ名誉会員



主要歴

大11．3　京都帝国大学文学部哲学科卒業
昭 3．4　法政大学文学部哲学科教授
20.10　中央公論社理事
21.11　帝室博物館次長
22．5　国立博物館次長
23．5　法政大学文学部長（～昭33．3）
38．2　法政大学総長（～昭40．8）
41　法政大学名誉教授
42　勲二等瑞宝章受章
45．9　市立図書館に谷川文庫を開設
47.10　常滑市長三賞陶芸展審査委員長（～昭60.10）
50　ＮＨＫ放送文化賞受賞　日本芸術院会員
53.11　㈶鈴渓学術財団理事長
59．6　㈶明治村理事長
62.11　文化功労者



Mr. Kazuo Iwata

岩田（いわた）　弍夫（かずお）氏

昭和62年8月13日名誉市民

明治43年2月18日生
東京都新宿区在住
(旧西浦町出身)

現職

株式会社東芝相談役、財団法人ファインセラミックスセンター会長、財団法人機械振興協会会長



主要歴

昭 9．3　東京帝国大学法学部法律学科卒業
4　東京電気株式会社入社
14．7　東京芝浦電気㈱合併
31．9　同社社長秘書
37．7　同社財務部長
39．5　同社取締役家庭電機事業部長
41．5　同社専務取締役
43．5　同社取締役副社長
51．6　同社取締役社長
55．6　同社取締役会長
11　勲二等旭日重光章受章
56．5　㈶機械振興協会会長
59．4　株式会社東芝取締役会長(社名変更)
6　同社相談役
60．4　スター・ウイズ・ゴールデンリーブス勲章受章(ハンガリー)
60．5　㈶ファインセラミックスセンター会長



名誉市民顕彰式（昭和62年11月3日）





名誉市民を囲む座談会（昭和62年11月3日）

Honorary Citizens of Tokoname City



Mr. Gaishi Hiraiwa

平岩（ひらいわ）　外四（がいし）氏

昭和62年8月13日名誉市民

大正３年８月31日生
東京都大田区在住
（旧常滑町出身）

現職

東京電力株式会社取締役会長、社団法人経済団体連合会副会長、国家公安委員会委員、経済審議会会長



主要歴

昭14．3　東京帝国大学法学部法律学科卒業
　　4　東京電燈株式会社入社
1 17．4　関東配電株式会社引継入社
　26．5　東京電力株式会社引継入社
　49.11　同社取締役副社長
　51.10　同社取締役社長
　　10　藍綬褒章受章
　52．7　電気事業連合会会長（～昭59.6）
　53．5　㈳経済団体連合会副会長
　55．3　名誉大英勲章第三位受章
　56．2　国家公安委員会委員
　58．3　レジオンドヌールオフィシュ勲章受章
　59．6　同社取締役会長
　　11　勲一等瑞宝章受章
　60．4　カナダ原子力協会「国際賞」受賞
　　4　ドイツ連邦共和国功労勲章大功労十字章受章
　62．4　名誉大英勲章第二位受章
　　9　経済審議会会長



Mr. Akio Morita

盛田（もりた）　昭夫（あきお）氏

昭和62年8月13日名誉市民

大正10年１月26日生
東京都目黒区在住
（旧小鈴谷村出身）

現職

ソニー株式会社代表取締役会長、社団法人経済団体連合会副会長



主要歴

昭19．9　大阪帝国大学理学部物理学科卒業
　21．5　東京通信工業株式会社設立、同社取締役
　33．1　東京通信工業株式会社をソニー株式会社に社名変更
　34.12　同社代表取締役副社長
　44．3　モルガン・ギャランティ・トラスト・カンパニー国際委員会委員
　46．6　同社代表取締役社長
　51．1　同社代表取締役会長
　　3　藍綬褒章受章
　57.11　国際エミー賞の最高賞「特別貢献賞」受賞
　　12　英国王立芸術院より「アルバート・メダル」受章
　59．2　フランス政府より「レジオン・ドヌール」受章
　61．5　㈳経済団体連合会副会長
　62．6　「ドイツ連邦共和国功労勲章大功労十字章」受章
　　9　「オーストリア共和国有功勲章第一級ナイト・コマンダーズクロス章」受章



The Late Mr. Chozaburo Ina

故伊奈（いな）　長三郎（ちょうざぶろう）氏

昭和47年6月12日名誉市民

明治23年３月20日生（常滑市奥条）

名陶工伊奈長三郎氏の６代目にあたり、近代常滑窯業の発展と開発に力を尽くし、市制施行、市勢の進展に偉大な貢献をされました。常滑町議員、常滑町長を歴任し、初代常滑市長に就任。市立陶芸研究所建設に寄与され、昭和47年、氏の寄付により陶業、陶芸の一大振興のために長三賞を設けられました。

昭和55年10月10日逝世　享年90



The Late Mr. Keizo Hisada

故久田（ひさだ）　慶三（けいぞう）氏

昭和54年6月13日名誉市民

明治30年１月20日生（常滑市阿野町）

西浦町議員、西浦町長、常滑市参与、常滑市助役等の公職を歴任し、昭和34年、常滑市長に就任以来５期20年にわたり市の行政トップとして偉大な功績を残されました。交通安全をはじめ公共福祉の増進、産業文化の振興、市勢の進展に貢献され、昭和54年、交通安全最高栄誉章「緑十字金章」を受章されました。

昭和58年７月29日逝世　享年86

常滑のあゆみ

明治

明治４年（1870）額田県に属する
５年（1871）愛知県に属する
21年（1888）盛田命祺が「私立鈴渓義塾」を創立
22年（1889）大野村が町制施行（10/1）
23年（1890）常滑村が町制施行（12/17）
29年（1896）常滑工業補習学校が創設される
（明治33年常滑陶器学校となる）
44年（1911）大野・常滑・西浦地区に電灯がつく
枳豆志村が町制施行、西浦町となる
（12/10）
45年（1912）伝馬町～大野町間に電車が開通

大正

大正２年（1913）大野町～常滑間に電車が開通
７年（1918）定期バスが半田～常滑間を運行
14年（1925）常滑陶器学校が県立になる
（昭和10年愛知県常滑工業学校に改称）

昭和

昭和５年（1930）常滑陶器館が建設される
11年（1936）常滑実科高等女学校が開校
（昭和17年愛知県常滑高等女学校に改称）
19年（1944）東南海地震が発生（12/7）
23年（1948）常滑工業学校と常滑高等女学校が統合、県立常滑高等学校となる
学校給食が始まる
25年（1950）名古屋～常滑間に直通電車が開通
26年（1951）鬼崎村が町制施行（10/17）
27年（1952）小鈴谷村が町制施行（7/1）
28年（1953）常滑競艇が開催される（7/10）
13号台風が市内を襲う



大正時代の常滑港

市制施行後のあゆみ

昭和29年（1954）
４月１日　常滑市制施行（県下17番目）
（常滑町、鬼崎町、西浦町、大野町、三和村が合併）
４月25日　初代市長に伊奈長三郎氏が就任
昭和30年（1955）
３月27日　二代市長に滝田次郎氏が就任
６月１日　常滑市章を制定
昭和31年（1956）
４月１日　各地区消防団が統合
５月26日　市防犯協会を結成
昭和32年（1957）
３月31日　小鈴谷町の一部（大谷、小鈴谷、広目、坂井地区）が常滑市に合併
９月１日　国民健康保険事業を開始
昭和33年（1958）
１月15日　全市統一成人式を開催
９月１日　三和、大野中学校を統合、青海中学校を設立
昭和34年（1959）
３月27日　三代市長に久田慶三氏が就任
４月28日　常滑市民病院が完成
９月26日　伊勢湾台風で大被害
昭和35年（1960）
４月１日　三和東、三和南小学校を統合、三和小学校を設立。大野、三和西小学校を統合、大野小学校を設立
昭和36年（1961）
７月24日　中部知多衛生組合が発足（し尿処理）
10月10日　市立陶芸研究所が完成
昭和37年（1962）
２月20日　県営愛知用水上水道による給水を開始
９月11日　常滑武豊衛生組合が発足（ごみ処理）
昭和38年（1963）
４月１日　西浦、小鈴谷中学校を統合、南陵中学校を設立
11月12日　常滑音頭、常滑小唄を発表
昭和39年（1964）
10月４日　東京オリンピック聖火リレーに市民が参加
11月２日　市制10周年記念式典



伊勢湾台風

昭和40年（1965）
　5月26日　消防庁舎完成
　11月18日　交通安全〝子どもを守る会〟が発足
昭和41年（1966）
　10月15日　市民体育会館が完成
昭和42年（1967）
　9月11日　第1回常滑焼大見本市を開催
昭和43年（1968）
　11月1日　県常滑窯業技術センターが完成
昭和44年（1969）
　3月15日　万国博に常滑焼が参加
　4月16日　市庁舎が完成
昭和45年（1970）
　10月1日　市立図書館が完成
昭和46年（1971）
　3月31日　市立養護老人ホームが完成
　8月5日　移動図書館「あおぞら号」巡回を開始
　（63年3月まで）
昭和47年（1972）
　6月12日　名誉市民に伊奈長三郎氏を決定
　（11月2日顕彰式典）
　7月8日　バロリス国際陶芸展で名誉最高大賞を受賞
　（第3回ビエンナーレ）
　10月6日　長三賞設定記念陶芸展を開催
昭和48年（1973）
　4月2日　常滑警察署が発足
　常滑商工会議所が発足
　5月7日　農村基盤総合整備パイロット事業が着工
昭和49年（1974）
　4月5日　市制施行20周年記念式典
　市の木「クロマツ」を発表
　7月25日　集中豪雨が市内を襲う
昭和50年（1975）
　4月5日　県立常滑北高校が開校
昭和51年（1976）
　2月1日　大野町、小倉、青海団地、西之口、浦池地域に新町名地番を設定
　9月12日　17号台風による集中豪雨が市内を襲う
昭和52年（1977）
　2月1日　榎戸、多屋地域に新町名地番を設定
昭和53年（1978）
　3月31日　市保健センターが完成
　8月1日　旧常滑地域に新町名地番を設定
昭和54年（1979）
　4月30日　四代市長に庭瀬健太郎氏が就任
　6月13日　名誉市民に久田慶三氏を決定
　（11月2日顕彰式典）
　8月1日　樽水、西阿野、熊野、古場、苅屋地域に新町名地番を設定
昭和55年（1980）
　4月4日　常滑小学校が常滑西・常滑東に分割開校
　4月23日　民俗資料館が完成
　10月1日　高齢者能力活用協会が発足
昭和56年（1981）
　2月7日　市の花「サザンカ」を発表
　4月25日　グリーンスポーツセンターがオープン
昭和57年（1982）
　3月27日　南陵市民センターが完成
　4月21日　登り窯が国重要有形民俗文化財に指定
昭和58年（1983）
　3月24日　青海公民館が完成
　8月13日　常滑競艇場の新スタンドが完成
　8月31日　市民文化会館、中央公民館が完成
昭和59年（1984）
　4月2日　市制施行30周年記念式典
　7月1日　文化協会が発足
昭和60年（1985）
　5月30日　第3セクター方式「常滑駅ビル株式会社」が設立
　6月3日　市民病院で人工透析を開始
昭和61年（1986）
　3月24日　第2次常滑市総合計画を決定
　3月31日　久米工場団地（19ha）が完成
昭和62年（1987）
　1月1日　市内5カ所の出張所を廃止、3カ所（青海・鬼崎・南陵）の連絡所を開設
　4月30日　五代市長に中村克巳氏が就任
　8月13日　名誉市民に谷川徹三氏、岩田弐夫氏、平岩外四氏、盛田昭夫氏を決定
　（11月3日顕彰式典）



49年7月の集中豪雨



市制30周年記念式典

市　章

常滑市の「常」の字を、画家の杉本健吉氏が図案化したもので、市民の団結と市勢の発展が表わされています。（昭和30年６月制定）



市の木　クロマツ

みどりを育て、守り、みどり豊かな都市づくりのために、市制20周年を記念して選定されました。
（昭和49年３月）



市の花　サザンカ

市民のアンケート調査から、選定されました。　（昭和56年２月）

音頭・小唄

（昭和38年11月発表）

常滑音頭

作詞　樋貝正幸
作曲　清水保雄
振付　島田豊年

ハアー
一、陶都常滑港に街に
　積んだ焼物大山小山
　産業繁昌と木綿の織機も
　おさのひびきで一囃子
　ホイサ手拍子　トントン拍子
　トント常滑よい調子

ハアー
二、誰と大野か小鈴谷かけて
　浜は七色水着の花を
　ボートレースのしぶきが呼べば
　すべるヨットの帆も招ぐ
　ホイサ手拍子　トントン拍子
　トント常滑よい調子

ハアー
三、木曽のたにみず黄金の穂波
　寄せる小波夕日にはえて
　熱い人情もいでゆの坂井
　沖のえものは魚籠の中
　ホイサ手拍子　トントン拍子
　トント常滑よい調子

ハアー
四、浮ぶ灯台潮路を照らす
　明日をさす手は踊りの手振り
　ゆめも大きく伊勢湾抱いて
　知多の要の伊達姿
　ホイサ手拍子　トントン拍子
　トント常滑よい調子

常滑小唄

作詞　榊原言賢
作曲　清水保雄
振付　島田豊年

一、陶都千年　繁昌のけむり
　西へ東へ　日も夜もなびく
　八重の汐路の　かぎりまで

二、わたしゃ常滑　窯場の娘
　想いつのれば　千度をこえる
　熱い炎の　恋もする

三、のりの色香に　たもとをひかれ
　浸たる湯けむり　大谷坂井
　小夜のしおさい　夢のなか

四、海はるり色　大野の浜辺
　波は手招く　しぶきにぬれて
　可愛い人魚の　みだれ髪

五、知多の木綿に　肌さえ匂う
　粋なゆかたの　あの娘の酌で
　地酒よいよい　とんとろり

六、遠くかすむは　鈴鹿か伊勢か
　君のヨットは鬼崎あたり
　楽し沖釣　なぎ日和

七、海のギャンブル　こころもはずむ
　うなるエンジン　風呼ぶレース
　かける幸運　波の花

八、伸びる常滑　栄える街よ
　五色モザイク　七色タイル
　世界いろどる　こころ意気

資料編

自然

●市役所の位置

所 在 地　愛知県常滑市新開町４丁目１番地

東　　経　136度50分

北　　緯　34度53分

●広　　さ

面　　積　49.60㎢

東　　西　6.1km

南　　北　15km

●市域の変遷

昭和29年４月１日　市制施行

（三和村・大野町・鬼崎町・常滑町・西浦町が合併）

昭和32年３月31日　小鈴谷町が合併

以前の歴史をさぐると、むかし、漁労の民が海岸沿いに、あるいは海を渡って当地に住みついたと想像される。

和名抄には知多贄代郷の地と記されており、永正４年（1507年）の宗長宇津山記には「伊勢の国多気より大湊に出で、尾張の国知多郡常滑という津に渡る」とある。

戦国時代を経て江戸時代には尾張藩の治下にあり、維新後は名古屋藩、額田県そして愛知県に属した。

本市の地名「常滑」については、万葉集にも用例があり、学説では「常」は床の義をとり、「滑」は滑（なめらか）の義にとるのが妥当であるとされている。古くから、当地は岩土盤の露出が多く、その性質はなめらかになっており、この岩土盤全体をも「とこなめ」と呼び習俗を生んだものとされている。

人口

●人口と世帯数 (昭和62年４月１現在)

人口　53,551人　(男26,195人　女27,356人)

世帯数　14,534世帯

●人口と世帯数の推移 (各年４月１日現在)

区分／年	人口			世帯数	備考
	男	女	計		
昭和29	19,999	22,980	42,979	8,482	29.4.1市制施行
30	20,135	23,078	43,213	8,509	
32	22,526	27,274	49,800	9,469	32.3.31小鈴谷町が合併
35	23,182	27,440	50,622	9,905	
40	25,140	27,944	53,084	11,340	
45	26,049	27,994	54,043	12,643	
50	27,000	28,495	55,495	13,643	
55	26,954	28,298	55,252	14,518	
60	26,424	27,502	53,926	14,467	
61	26,327	27,417	53,744	14,509	
62	26,195	27,356	53,551	14,534	

●人口の動態 (各年４月１日現在)

区分／年度	自然動態		社会動態		増減
	出生	死亡	転入	転出	
昭和57	576	372	1,103	1,551	△244
58	601	376	1,050	1,561	△286
59	589	344	1,053	1,419	△121
60	561	330	999	1,412	△182
61	518	367	1,110	1,454	△193

●年齢別人口 (昭和62年４月１日現在)

	0～10歳	11～20	21～30	31～40	41～50	51～60	61～70	71～80	81～90	91～100	100～
男	4,258	4,512	3,354	4,126	4,088	3,055	1,769	1,112	261	13	0
女	4,044	4,497	3,224	4,133	4,050	3,293	2,426	1,587	486	44	1
計	8,302	9,009	6,578	8,259	8,138	6,348	4,195	2,699	747	57	1

総　計　54,333人　　平均年齢　35.12歳

土地利用

●地目別土地面積 (昭和62年1月1日現在)

総数	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他
ha								
4,959	1,030	726	746	8	723	106	192	1,428

●都市計画

都市計画区域　昭和32年9月19日市内全域指定

用途地域別面積

市街化区域							
第1種住居専用	第2種住居専用	住居	近隣商業	商業	準工業	工業	計
ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
91.0	43.0	583.0	24.0	41.0	278.0	41.0	1,101

●農村総合整備事業 (昭和62年4月1日現在)

土地利用計画面積と現況面積 (単位：ha)

用途 / 地区名		農用地						非農用地										合計	備考(市外)
		水田	普通畑	樹園地	施設園芸	飼料畑	計	営農施設	公共用地	公園緑地	工場用地	集落用地	基幹道水路グリーンベルト	道水路	山林原野	池沼その他	計		
常滑	現況	540.5	63.1	24.2	0.9	−	628.7	22.2	0.4	−	−	69.9	−	100.6	361.3	41.1	595.5	1,224.2	46.8
	計画	419.9	186.7	37.1	21.9	31.3	696.9	40.4	6.8	14.8	18.3	75.9	25.5	148.4	145.8	51.4	527.3	1,224.2	46.8
久米東部	現況	90.9	1.4	1.3	0.3	−	93.9	0.4	−	−	−	0.5	−	16.3	10.7	8.1	36.0	129.9	−
	計画	68.3	8.1	1.2	2.5	−	80.1	0.6	16.0	1.4	−	0.5	1.0	21.8	3.8	4.7	49.8	129.9	−
鬼崎	現況	133.8	71.2	3.5	−	−	208.5	−	−	−	−	−	−	18.9	21.6	4.5	45.0	253.5	0.4
	計画	96.2	96.8	2.1	−	−	195.1	0.1	8.6	6.1	−	4.9	3.0	33.1	2.6	−	58.4	253.5	0.4
常滑中部	現況	66.0	17.5	14.8	−	−	98.3	3.1	14.7	−	−	16.8	−	22.3	134.2	9.5	200.6	298.9	−
	計画	46.2	102.6	14.2	−	−	163.0	5.7	16.7	2.7	−	16.8	3.8	39.2	41.5	9.5	135.9	298.9	−
常滑二期	現況	254.0	169.0	54.1	−	−	477.1	2.3	−	22.5	−	21.3	−	58.0	199.0	41.4	344.5	821.6	12.0
	計画	180.6	217.5	74.0	26.9	−	499.0	11.2	5.6	25.8	25.0	40.0	17.4	80.5	103.4	13.7	322.6	821.6	12.0
小鈴谷	現況	118.0	69.4	17.7	−	−	205.1	−	−	−	−	10.7	−	32.3	160.7	18.1	221.8	426.9	5.4
	計画	82.8	148.6	41.9	13.3	−	286.6	3.4	1.2	3.2	21.1	16.9	6.9	57.1	15.8	14.7	140.3	426.9	5.4
その他	現況	102.4	10.5	27.2	0.3	−	140.4	−	19.6	0.3	10.7	223.5	−	57.8	205.2	35.5	552.6	693.0	−
	計画	61.7	9.8	24.5	−	−	96.0	−	19.6	0.8	10.7	330.3	2.7	50.9	154.0	28.0	597.0	693.0	−
合計	現況	1,305.6	402.1	142.8	1.5	−	1,852.0	28.0	34.7	22.8	10.7	342.7	−	306.2	1,092.7	158.2	1,996.0	3,848.0	64.6
	計画	955.7	770.1	195.0	64.6	31.3	2,016.7	61.4	74.5	54.8	75.1	485.3	60.3	431.0	466.9	122.0	1,831.3	3,848.0	64.6
市外	現況	48.8	1.9	1.5	−	−	52.2	−	−	−	−	0.5	−	2.8	8.6	0.5	12.4	3,912.6	64.6
	計画	35.0	11.7	0.7	−	−	47.4	−	−	−	−	0.5	1.3	11.0	4.4	−	17.2	3,912.6	64.6

産業・経済

●産業別就業者数

		55年			60年		
		男	女	計	男	女	計
第一次産業	農業	848人	837人	1,685人	761人	751人	1,512人
	林業・狩猟業	−	−	−	−	−	−
	漁業・水産養殖業	517	355	872	522	368	890
	計	1,365	1,192	2,557	1,283	1,119	2,402
第二次産業	鉱業	4	−	4	11	3	14
	建設業	1,421	206	1,627	1,366	200	1,566
	製造業	7,278	4,975	12,253	7,028	4,590	11,618
	計	8,703	5,181	13,884	8,405	4,793	13,198
第三次産業	卸売・小売業	2,246	2,306	4,552	2,248	2,443	4,691
	金融・保険・不動産業	276	345	621	282	320	602
	運輸・通信業	954	180	1,134	984	195	1,179
	電気・ガス・水道業	111	30	141	112	22	134
	サービス業	1,668	2,299	3,967	1,852	2,333	4,185
	公務	551	231	782	501	319	820
	分類不能の産業	6	10	16	8	19	27
	計	5,812	5,401	11,213	5,987	5,651	11,638
合計		15,880	11,774	27,654	15,675	11,563	27,238

資料：国勢調査

●規模別事業所数

	47年度	50年度	53年度	56年度	61年度
1～4人	1,938	1,894	1,870	2,045	1,980
5～29人	754	786	804	857	813
30人以上	86	85	86	86	87
合計	2,778	2,765	2,760	2,988	2,880

資料：事業所統計調査

●工業の概況 (各年12月31日現在)

産業分類	60年			61年		
	工場数	従業者数	出荷額等	工場数	従業者数	出荷額等
食料品	18	303人	6,442百万円	18	277人	6,603百万円
繊維工業	62	696	5,543	60	605	4,684
衣服身回品	10	158	1,076	9	176	1,164
木材同製品	6	48	436	5	37	244
家具装備品	6	142	967	7	162	10,578
紙同製品	10	168	2,417	10	181	2,273
出版印刷	5	81	753	5	82	822
プラスチック製品	17	204	3,160	17	230	3,404
化学工業	−	−	−	−	−	−
石油石炭製品	−	−	−	−	−	−
ゴム製品	−	−	−	−	−	−
皮革製品	−	−	−	−	−	−
窯業土石製品	246	5,289	64,010	228	5,028	63,557
鉄鋼業	7	412	9,971	5	353	8,157
非鉄金属	1	X	X	2	X	X
金属製品	22	335	4,827	22	295	4,322
一般機械	23	462	7,064	24	863	13,381
電気機器	4	42	119	4	42	120
輸送機器	16	274	3,450	18	301	4,589
精密機器	2	X	X	2	X	X
その他	1	X	X	−	−	−
合計	456	8,651	119,252	436	8,669	124,213

(注) 従業者数1～3人の事務所は除く　　資料：工業統計調査（61年は市独自の集計による）（Xは統計法により秘匿したもの）

●商業の概況 (各年6月1日現在)

産業分類		57年			60年		
		商店数	従業者数	年間商品販売額	商店数	従業者数	年間商品販売額
卸売業		155	人 857	万円 2,616,470	142	人 738	万円 2,680,351
小売業		1,028	3,262	3,167,600	802	2,558	3,134,998
小売業内訳	各種商品	1	X	X	3	97	338,608
	織物・衣服・身廻品	133	336	302,806	118	279	297,345
	飲食料品	321	1,021	1,035,084	309	956	1,046,395
	飲食店	164	481	168,803	146	479	200,305
	自動車・自転車等	46	195	272,808	42	184	251,577
	家具・建具・什器等	127	381	412,875	116	354	357,071
	医薬品・化粧品	45	108	85,095	47	101	100,930
	農耕用品	9	21	26,671	10	29	29,186
	燃料	41	164	500,365	33	149	462,635
	書籍・文房具	29	206	100,145	25	213	93,370
	中古品	2	X	X	1	X	X
	その他	110	218	131,691	98	194	156,916
総数		1,183	4,119	5,784,070	1,090	3,775	6,015,654

資料：商業統計調査（飲食店は61.10.1調査で市集計による）

●農業の概況

農家戸数と経営耕地面積（各年２月１日現在　単位：ha）

年	戸数	総面積	田	畑	樹園地
50	2,115戸	1,226戸	946戸	207戸	73
55	1,777	1,044	824	166	54
60	1,642	926	707	182	37

資料：農林総計

農業生産額（各年12月31日現在）

	57年	58年	59年	60年
米	812百万円	912百万円	1,106百万円	1,108百万円
麦	2	2	10	13
雑穀豆・いも類	47	50	56	45
野菜	416	509	605	583
果実	76	92	145	180
花卉	384	361	332	386
肉用牛	58	74	87	91
乳牛	354	380	462	500
豚	435	469	450	399
鶏	1,757	1,723	1,749	1,910
その他	162	152	171	168
総生産額	4,503	4,730	5,173	5,383

資料：農林統計

●漁業の概況（各年12月31日現在）

階層別漁業経営体

年	総数	漁船非使用	漁船使用			
			3ｔ未満	3～10ｔ	10ｔ以上	ノリ養殖
57	458件	27件	24件	17件	1件	389件
58	438	16	24	19	1	378
59	438	15	24	23	1	375
60	429	12	28	27	1	361

資料：漁業センサス、農林統計

漁種別漁獲高

年	総数	魚類	貝類	水産動物	草類	ノリ
57	3,063ｔ	557ｔ	2,001ｔ	299ｔ	206ｔ	170,032千枚
58	3,117	342	2,225	228	322	204,407
59	4,302	265	3,625	175	237	232,860
60	865	234	402	167	62	222,815

資料：農林統計

教育

●小中学校 (昭和62年5月1日現在)

区分 / 学校名	学級数	児童・生徒数	教職員数	校舎延面積	屋内運動場	プール水面積	建物敷地	屋外運動場
三和小学校	13	388人	22人	4,033㎡	517㎡	375㎡	7,562㎡	13,092㎡
大野〃	15	458	24	6,022	547	375	7,639	11,021
鬼崎北〃	13	313	21	3,842	504	375	8,187	10,110
鬼崎南〃	25	858	40	7,564	774	420	11,859	12,548
常滑西〃	20	660	31	8,838	2,367	465	11,772	9,312
常滑東〃	18	539	32	8,259	1,062	375	12,705	14,989
西浦北〃	13	408	22	3,999	517	375	6,204	6,857
西浦南〃	9	263	17	3,873	470	375	3,221	10,911
小鈴谷〃	13	399	21	4,054	500	375	6,572	9,819
計	139	4,286	230	50,484	7,258	3,510	75,721	98,659
青海中学校	15	569	29	4,381	1,726	353	8,784	16,779
鬼崎〃	19	749	36	7,469	976	375	13,792	22,290
常滑〃	22	844	42	12,221	3,927	425	20,913	23,256
南陵〃	16	636	32	5,798	976	375	10,236	17,693
計	72	2,798	139	29,869	7,605	1,528	53,725	80,018

●県立高等学校 (昭和62年5月1日現在)

区分 / 学校名	学級数	生徒数	教員数	校舎延面積	建物敷地	体育館	屋外運動場
常滑高校	全日 21	843人	76人	17,283㎡	17,874㎡	2,032㎡	26,266㎡
	定時 4	59	19				
常滑北高校	24	1,127	58	10,855	25,971	1,773	31,507
計	49	2,029	153	28,138	43,845	3,805	57,773

●幼稚園 (昭和62年5月1日現在)

区分 / 園名	学級数	定員数	園児数	教諭数	園舎延面積	建物敷地	屋外運動場
三和東幼稚園	4	90人	65人	6人	732㎡	1,290㎡	1,350㎡
常滑幼稚園	4	*180	77	7	932	1,997	1,758
計	8	270	142	13	1,664	3,287	3,108

福祉

●保育園 （昭和62年4月1日現在）

区分 / 園名	敷地面積	延床面積	定員	園児数				
				3歳未満児	3歳児	4歳児	5歳児	計
三和南	5,972㎡	1,450㎡	120人	0人	32人	37人	34人	103人
三和西	4,807	1,446	90	6	18	18	25	67
青海	2,959	1,757	60	0	16	22	13	51
大野	2,417	1,208	60	0	10	21	16	47
鬼崎北	3,691	1,143	120	0	37	40	32	109
鬼崎中	3,792	848	120	0	32	37	26	95
鬼崎西	3,006	1,576	90	0	24	22	19	65
鬼崎南	3,710	1,101	200	7	56	60	73	196
常滑北	2,300	729	90	0	36	26	23	85
瀬木	5,701	1,812	180	18	53	40	44	155
常石	2,130	629	120	0	37	35	37	109
大曽	4,821	868	60	（休園）				
丸山	4,253	1,476	120	10	35	34	35	114
西浦北	4,054	865	120	0	31	27	31	89
西浦中	2,032	682	60	0	27	13	18	58
西浦南	2,771	984	120	0	19	35	25	79
桧原	2,499	481	60	0	8	5	12	25
小鈴谷北	5,962	1,690	120	0	30	19	32	81
小鈴谷南	1,921	714	90	0	18	20	23	61
総計	68,798	21,459	2,000	41	519	511	518	1,589

●児童福祉施設 （昭和62年1月1日現在）

保育園	児童館	児童遊園	ちびっ子広場
19	8	12	40

●老人福祉施設 （昭和62年1月1日現在）

老人ホーム	老人憩の家
1	24

●障害者福祉施設 （昭和62年1月1日現在）

精神薄弱児通園施設	小規模授産所
1	2

防災

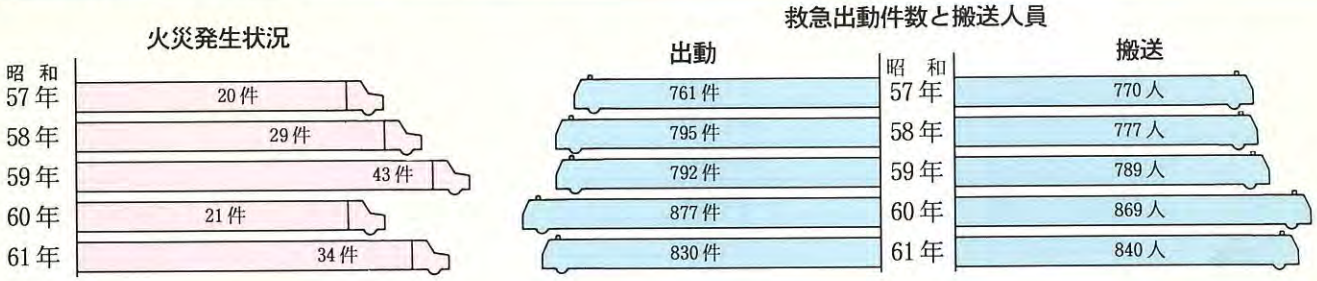
●消防車両(消防本部)（昭和62年4月1日現在）

はしご車	大型水そう車	水そう付消防ポンプ車	消防ポンプ車	化学車	救助工作車	救急車	広報車	その他
1台	1台	2台	1台	1台	1台	3台	2台	8台

●消防団現勢（昭和62年4月1日現在）

分団数	団員数	消防ポンプ車	小型ポンプ(積載車含む)
9	380人	8台	15台

●火災発生と救急出動（昭和62年4月1日現在）



行財政

●会計別当初予算規模

区分			61年度	62年度	伸率
一般会計			12,323,000千円	12,223,000千円	△ 0.8%
特別会計			43,347,613	48,678,407	12.3
特別会計の内訳	交通災害共済事業		19,522	19,391	△ 0.7
	国民健康保険事業		2,170,127	2,380,869	9.7
	老人保健		2,216,510	2,583,939	16.6
	農業共済事業		83,829	81,361	△ 2.9
	農業集落家庭排水処理施設		0	303,732	皆増
	モーターボート競走事業		38,846,766	43,297,256	11.5
	陶業陶芸振興事業基金		10,859	11,859	9.2
企業会計			4,859,444	4,728,204	△ 2.7
企業会計の内訳	水道事業		1,066,219	1,003,081	△ 5.9
	収益的	収入	710,319	721,666	1.6
		支出	704,918	720,451	2.2
	資本的	収入	279,947	180,370	△35.6
		支出	361,301	282,630	△21.8
	市民病院事業		3,793,225	3,725,123	△ 1.8
	収益的	収入	3,211,970	3,369,118	4.9
		支出	3,519,324	3,569,567	1.4
	資本的	収入	171,414	92,735	△45.9
		支出	273,901	155,556	△43.2
合計			60,530,057	65,629,611	8.4

●一般会計当初予算(歳入)

区分	61年度予算額	62年度予算額	伸率
市税	5,300,000千円	5,400,000千円	1.9%
地方譲与税	95,000	95,000	0.0
自動車取得税交付金	128,000	120,000	△ 6.3
地方交付税	570,000	570,000	0.0
交通安全対策特別交付金	8,000	8,000	0.0
分担金及び負担金	240,337	253,052	5.3
使用料及び手数料	224,115	230,406	2.8
国庫支出金	835,801	673,998	△19.4
県支出金	572,040	543,863	△ 4.9
財産収入	257,315	149,628	△41.9
寄附金	24,503	16,697	△31.9
繰入金	692,500	450,626	△34.9
繰越金	150,000	150,000	0.0
諸収入	3,050,789	3,433,030	12.5
市債	174,600	128,700	△26.3
合計	12,323,000	12,223,000	△ 0.8

●一般会計当初予算(歳出)

目的別

区分	61年度予算額	62年度予算額	伸率
議会費	190,323千円	188,300千円	△ 1.1%
総務費	1,293,270	1,379,591	6.7
民生費	2,687,971	2,896,039	7.7
衛生費	1,193,260	1,094,021	△ 8.3
労働費	51,222	51,322	0.2
農林水産業費	1,237,401	1,146,218	△ 7.4
商工費	934,235	861,864	△ 7.7
土木費	1,488,187	1,249,462	△16.0
消防費	653,671	661,467	1.2
教育費	1,553,766	1,605,227	3.3
災害復旧費	2	2	0.0
公債費	1,019,691	1,002,415	△ 1.7
諸支出金	1	77,072	7,707,100.0
予備費	20,000	10,000	△50.0
合計	12,323,000	12,223,000	△ 0.8

性質別

区分	61年度予算額	62年度予算額	伸率
人件費	3,764,396千円	3,864,906千円	2.7%
物件費	2,460,625	2,676,383	8.8
維持補修費	135,360	151,330	11.8
扶助費	635,220	635,270	0.0
補助費等	719,744	731,719	1.7
普通建設事業費	2,357,900	1,845,366	△21.7
災害復旧事業費	2	2	0.0
公債費	1,019,456	1,002,214	△ 1.7
出資金貸付金	587,540	636,400	8.3
積立金	110,000	110,000	0.0
繰出金	512,757	559,410	9.1
予備費	20,000	10,000	△50.0
合計	12,323,000	12,223,000	△ 0.8

●市税収入の推移

区分	59年度	60年度	61年度
市民税	2,336,221千円	2,661,677千円	2,720,571千円
固定資産税	1,485,232	1,694,410	1,824,121
軽自動車税、たばこ消費税 電気・ガス税、特別土地保有税	483,524	496,585	521,217
都市計画税	275,412	310,979	339,420
合計	4,580,389	5,163,651	5,405,329

●歴代三役

市　長

伊奈長三郎	29. 4.26～30. 3. 5
滝田次郎	30. 3.27～34. 3.26
久田慶三	34. 3.27～54. 4.29
庭瀬健太郎	54. 4.30～62. 4.29
中村克巳	62. 4.30～在任中

助　役

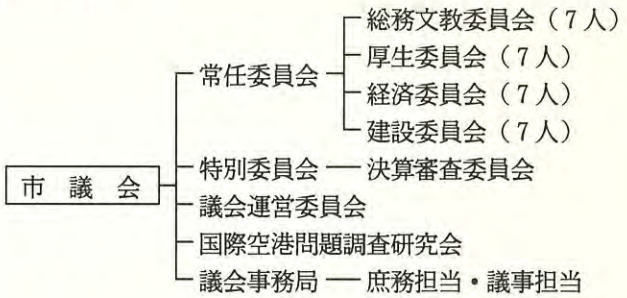
伊奈四郎	29. 5. 7～32. 1.21
久田慶三	30. 9.28～34. 3. 5
山田滝一	34. 6.29～38. 6.28
服部正次	38.10.25～50. 2.20
竹内七郎	50. 5.28～53. 9.25
佐野年治	53.10.25～54. 4. 2
中村克巳	54. 6.22～61. 6. 3
太田喜三	61. 6.21～62. 5. 8
石橋誠晃	62. 6. 9～在任中

収入役

山田滝一	29. 5. 7～34. 6.28
平野昭三	34. 6.29～53. 5.15
桑山浜市	53. 6.23～61. 6.22
榊原福司	61. 6.23～在任中

●市議会

組　織

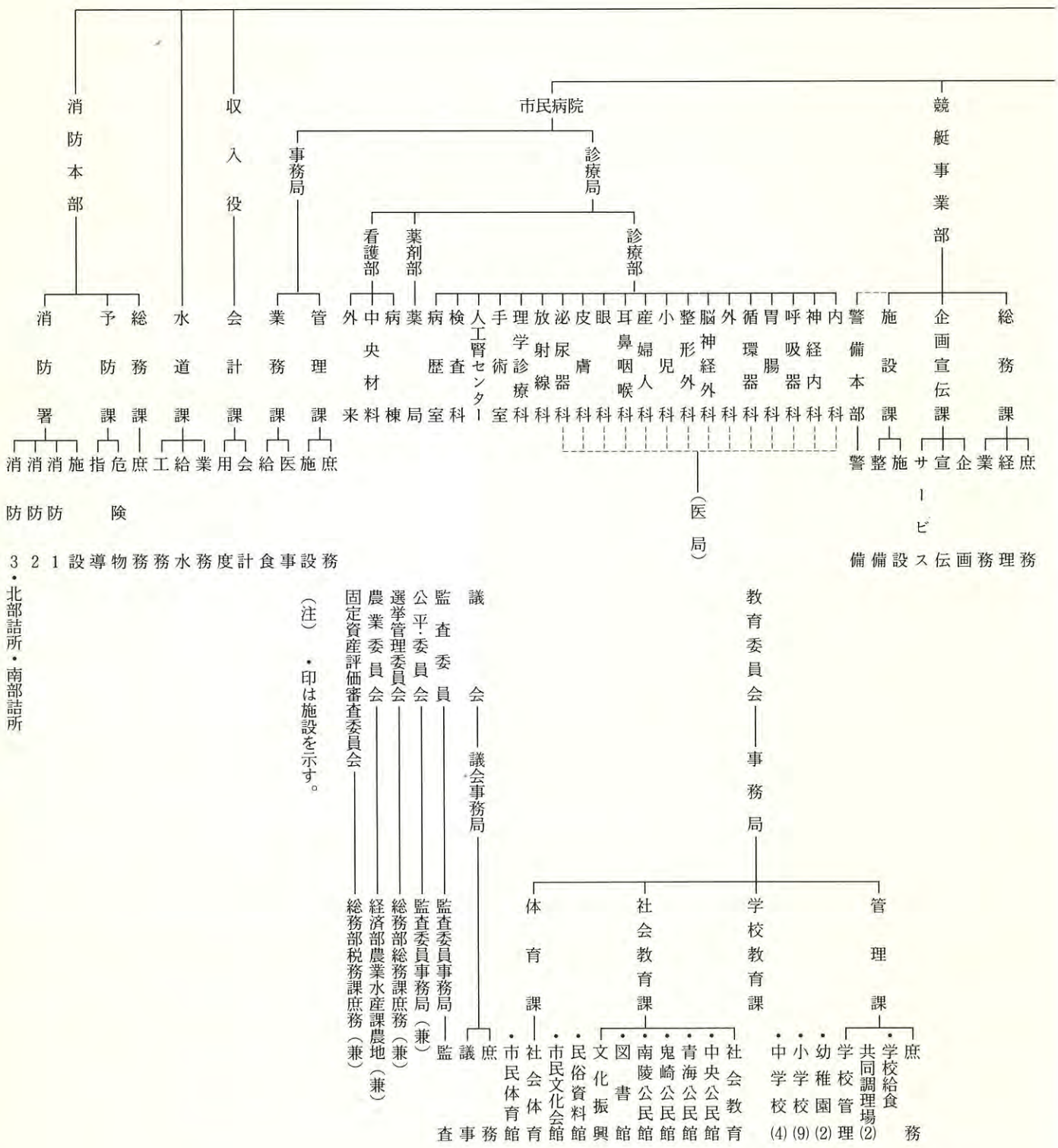


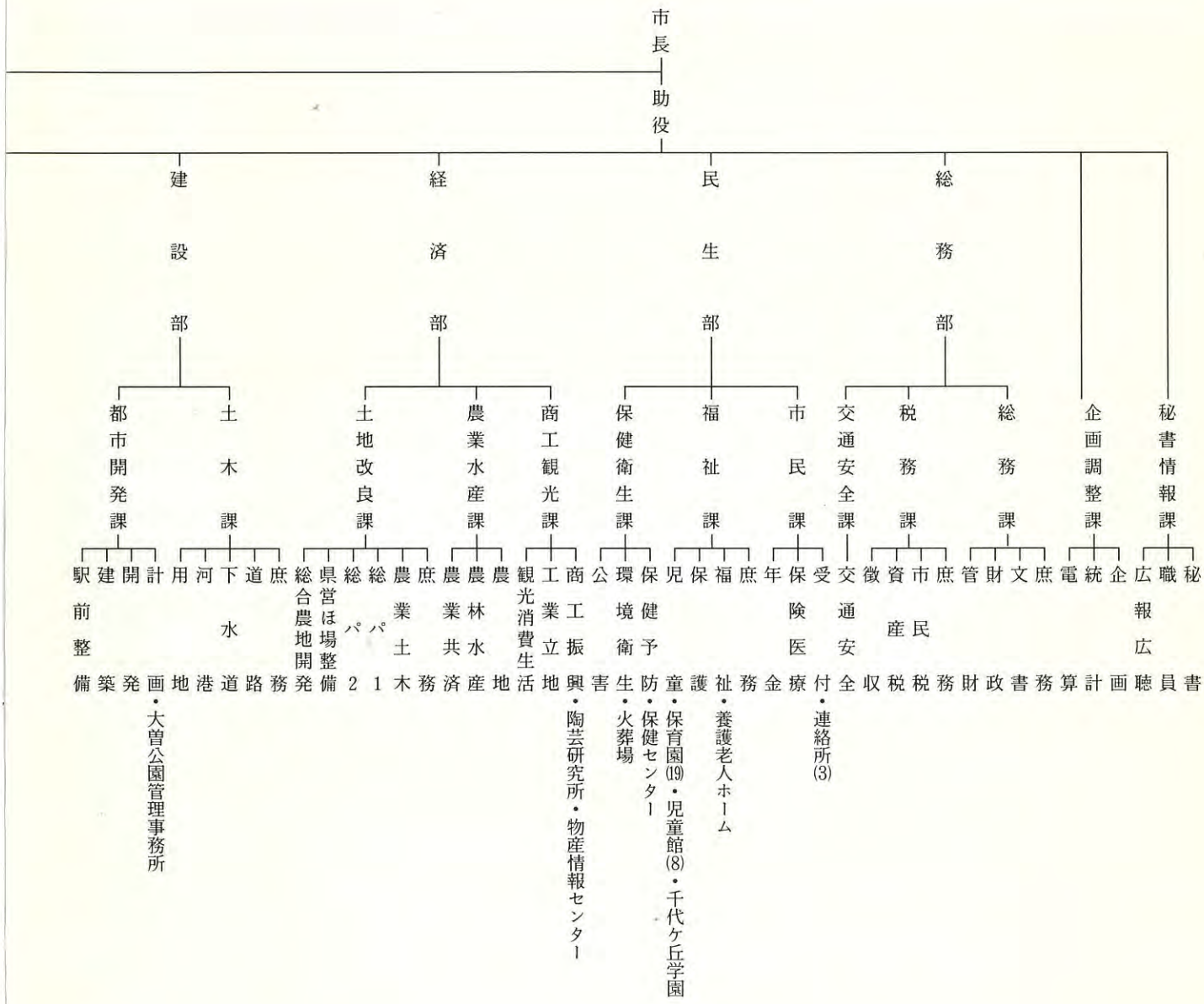
議員名簿

（昭和62年5月1日現在）

議席番号	氏名	政党	職業
1	杉江秀一	無所属	社員
2	伊藤次郎	無所属	〃
3	角野和昭	公明党	釉薬製造業
4	石原多巳雄	公明党	食品販売業
5	沢田丸四郎	無所属	会社役員
6	八木祥信	無所属	〃
7	片岡勝城	無所属	農漁業
8	後藤正	無所属	衣料品店主
9	沢田市郎	無所属	会社社長
10	中山勇弐	無所属	農漁業
11	佐々木志津江	日本共産党	政党役員
12	沢田信也	日本共産党	〃
13	鯉江勇	無所属	食品販売業
14	鈴木輝明	無所属	加工業
15	山本勇	無所属	会社社長
16	久田貞夫	無所属	農業
17	衣川仁市	無所属	販売業
18	西村武治	無所属	農業
19	竹内満	無所属	書道塾経営
20	中野勇夫	無所属	会社役員
21	山本国夫	無所属	〃
22	片山宏	無所属	農業
23	鈴村馮夫	無所属	会社顧問
24	桑山金義	無所属	食品販売業
25	稲葉民治郎	無所属	農業
26	伊藤渉	無所属	〃
27	山田竹士	無所属	会社社長
28	村上一良	無所属	農業

●行政機構 （昭和63年4月1日現在）




市長
助役
建設部
都市開発課
駅前整備
建築
開発
計画・大曽公園管理事務所
土木課
用地
河港
下水道
道路
庶務
経済部
土地改良課
総合農地開発
県営ほ場整備
総パ2
総パ1
農業土木
庶務
農業水産課
農業共済
農林水産
農地
商工観光課
観光消費生活
工業立地
商工振興・陶芸研究所・物産情報センター
民生部
保健衛生課
公害
環境衛生・火葬場
保健予防・保健センター
福祉課
児童・保育園(19)・児童館(8)・千代ヶ丘学園
保護
福祉・養護老人ホーム
庶務
市民課
年金
保険医療
受付・連絡所(3)
総務部
交通安全課
交通安全
徴収
税務課
資産税
市民税
庶務
総務課
管財
財政
文書
庶務
企画調整課
電算
統計
企画
秘書情報課
広報広聴
職員
秘書

主な公共施設

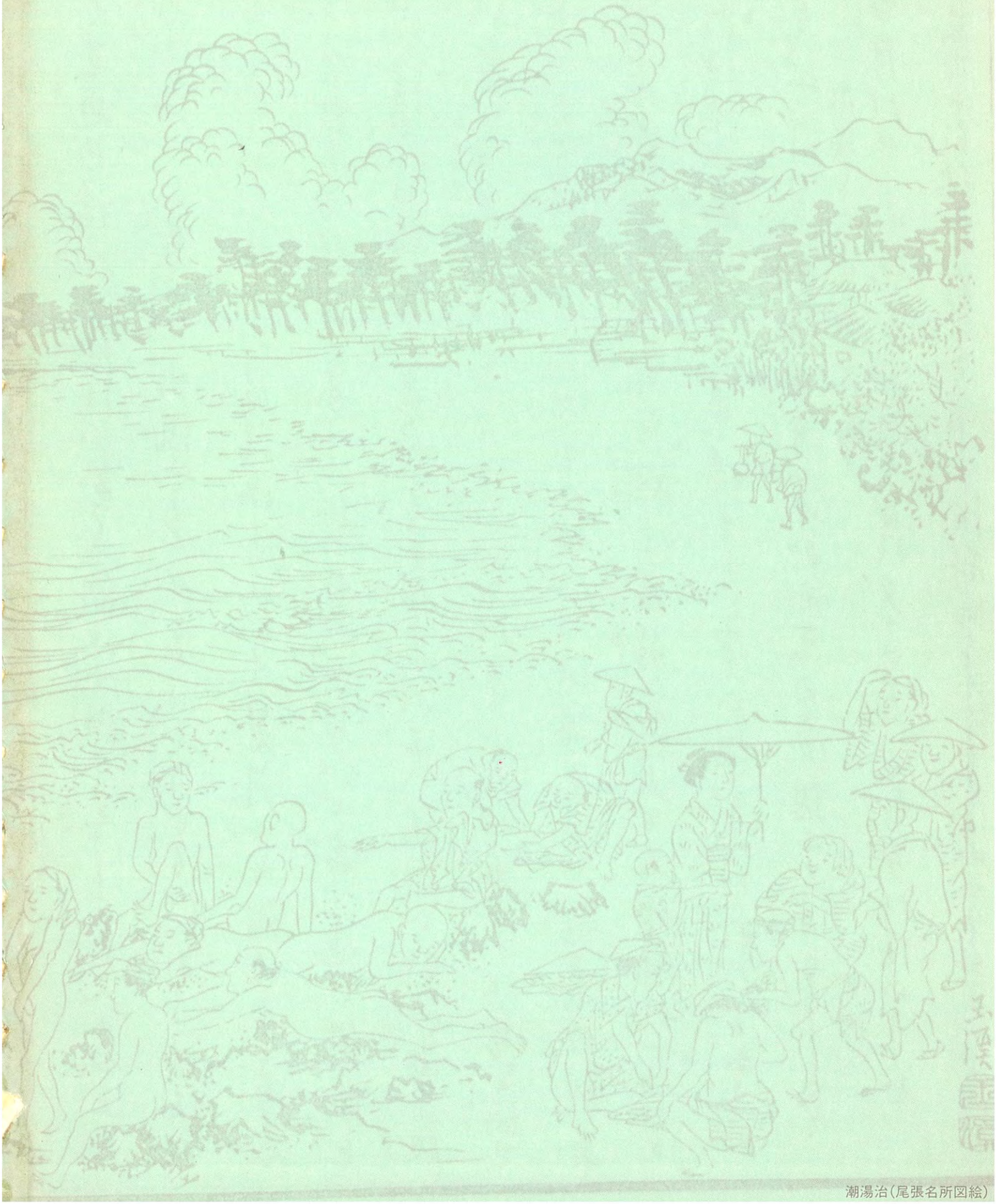
〔市外局番〕　常　滑〈05693〉　大　野〈05694〉

施設	所在地	電話	有線
常滑市役所	新開町4丁目1	代(5)5111	
青海連絡所	大塚町177	大野(2)0142	21-331
鬼崎連絡所	神明町3丁目35	大野(2)0475	21-351
南陵連絡所	苅屋字加茂30	(5)2369	21-361
交通安全センター	大曽町3丁目30	(5)5384	
家庭児童相談室	瀬木町1丁目105	(5)3666	53-847
養護老人ホーム	金山字屋敷30-1	大野(2)0771	27-135
千代ケ丘学園	千代ケ丘2丁目15	(4)7211	51-917
神明授産所	神明町3丁目61	大野(3)5722	43-656
梶間授産所	白山町3丁目24	(5)6659	58-427
三和児童館	久米字西郷18	大野(3)5537	25-367
大野児童センター	大野町6丁目36	大野(2)0001	31-791
西之口児童館	西之口8丁目60	大野(3)5721	41-582
明和児童館	明和町3丁目15	(4)7210	31-361
常滑児童センター	瀬木町1丁目105	(5)3666	53-847
唐崎児童館	唐崎町3丁目18	(4)3115	63-233
西浦南児童館	古場町7丁目16-3	(4)6940	65-411
小鈴谷児童館	大谷字松ケ坪95-2	(7)0623	71-232
社会福祉協議会	本町2丁目237	(4)4018	54-289
高齢者能力活用協会	本町2丁目216	(4)5125	54-288
中部知多衛生組合	知多郡武豊町字壱町田90-10	〈0569〉(72)0876	
常滑武豊衛生組合	知多郡武豊町字壱町田27	〈0569〉(72)0816	
保健センター	新開町5丁目62	(4)7000	21-711
火葬場	字高坂23-35	(4)3168	55-146
三和南保育園	金山字平井120	大野(2)0774	26-361
三和西保育園	小倉町8丁目110	大野(2)0769	29-337
青海保育園	金山字油手6	大野(2)4333	28-156
大野保育園	大野町8丁目75	大野(2)1440	31-685
鬼崎北保育園	住吉町5丁目36	大野(2)0612	42-635
鬼崎中保育園	榎戸町1丁目106	大野(2)0772	43-335
鬼崎西保育園	新田町2丁目18-3	大野(3)4122	43-997
鬼崎南保育園	森西町1丁目55	(5)2877	45-667
常滑北保育園	栄町6丁目224	(5)2437	53-694
瀬木保育園	瀬木町2丁目94	(5)2645	53-921
常石保育園	奥条7丁目36	(5)4823	55-324
大曽保育園	大曽町3丁目36	（休園）	
丸山保育園	山方町7丁目156	(4)4114	58-137
西浦北保育園	樽水町4丁目78	(5)3147	61-737
西浦中保育園	唐崎町3丁目18	(5)3152	63-237
西浦南保育園	古場町3丁目89	(5)4100	65-432
桧原保育園	桧原字神水1-1	(4)3117	66-282
小鈴谷北保育園	大谷字井戸尻13	(7)0164	71-115
小鈴谷南保育園	坂井字中山25-2	(7)0055	74-388
陶芸研究所	奥条7丁目22	(5)3970	54-151
物産情報センター	鯉江本町5丁目125	(4)8888	

施設	所在地	電話	有線
農業管理センター	榎戸字午新田154-3	大野(2)0248	26-116
商工会館	新開町5丁目58	(4)3200	52-418
陶磁器会館	栄町3丁目8	(5)2033	51-284
陶業試作訓練所	字飛渡28-1	(5)3290	
大曽公園管理事務所	大曽町6丁目3	(5)2797	55-163
常滑競技場	大曽町6丁目3	(5)2797	55-163
常滑球場	大曽町6丁目3	(5)2797	55-163
常滑プール	大曽町6丁目3	(5)2797	55-163
常滑ボート	新開町4丁目111	(5)5211	21-411
市民病院	鯉江本町4丁目5	(5)3170	21-381
消防本部（署）	新開町5丁目11	(5)2600	21-612
消防署北部詰所	榎戸町1丁目76	大野(2)0352	21-352
消防署南部詰所	熊野町1丁目55	(4)6148	21-363
北学校給食共同調理場	港町1丁目21	大野(2)0773	43-447
南学校給食共同調理場	保示町6丁目38	(5)4001	59-134
図書館	新開町1丁目104	(5)2217	52-117
民俗資料館	瀬木町4丁目203	(4)5290	54-429
市民文化会館	新開町5丁目65	(5)3111	52-822
中央公民館	新開町5丁目65	(5)6311	53-273
青海公民館	大塚町177	大野(3)6622	25-377
鬼崎公民館	神明町3丁目35	大野(3)0660	43-655
南陵公民館	苅屋字加茂30	(4)4748	67-351
野外教育センター	北設楽郡設楽町大字八橋字西路14	〈05366〉(2)2016	
市民体育館	新開町1丁目100	(5)4611	21-441
体育練習場	新開町2丁目9		51-999
常滑市柔剣道場	港町3丁目1		44-141
南陵武道場	苅屋字加茂30		67-536
三和東幼稚園	矢田字東根組37	大野(2)0143	24-597
常滑幼稚園	原松町2丁目95	(5)2124	51-583
三和小学校	久米字諏訪山30	大野(2)0749	25-348
大野小学校	大野町10丁目70	大野(2)1011	31-721
鬼崎北小学校	住吉町2丁目56	大野(2)0222	41-667
鬼崎南小学校	明和町2丁目47	(5)2422	45-972
常滑西小学校	本町3丁目136	(5)2104	21-451
常滑東小学校	瀬木町4丁目100	(5)2428	21-464
西浦北小学校	塩田町1丁目155	(5)2164	61-164
西浦南小学校	古場字栗下前5	(5)4002	65-431
小鈴谷小学校	大谷字井戸尻2-2	(7)0021	71-116
青海中学校	金山字南平井13-1	大野(2)0331	28-252
鬼崎中学校	港町3丁目1	大野(2)0221	43-436
常滑中学校	字二ノ田16-14	(5)2375	21-461
南陵中学校	苅屋町5丁目50	(5)4005	67-515
県立常滑北高等学校	金山字四井池10	大野(3)1151	26-115
県立常滑高等学校	奥栄町1丁目168	(5)2132	55-491
常滑窯業技術センター	大曽町4丁目50	(5)5151	55-183
知多保健所常滑支所	新開町5丁目62	(5)2537	52-246

発行:常滑市役所 〒479 愛知県常滑市新開町４―１　編集:常滑市秘書情報課　発行日:昭和63年４月　題字:大竹翠雲

印刷: 株式会社 好文



潮湯治(尾張名所図絵)

